

電源コード・配線器具は正しく使いましょう

掃除機のプラグから火花

事例

コンセントに掃除機のプラグを差し込んだところ、火花が散って黒煙が出た。

(平成20年8月 山形県)



原因

日常的に電源コードを引っ張ってコンセントからプラグを引き抜いて使用していたため、プラグ付近で電線が露出し、接触してショートし火花・発煙が生じたものです。



プラグをコンセントから抜く際は、コードを引っ張らずにプラグ部分を持ってください。

下敷きになったコードが発火

事例

住宅から出火して全焼し、顔にやけどを負った。
(平成20年3月 茨城県)

原因

電気毛布のコードをベッドの脚で踏んだ状態で使用していたため、コードが断線・発火し火災に至ったものです。



電源コードが家具等の下敷きになっていないか確認しましょう。



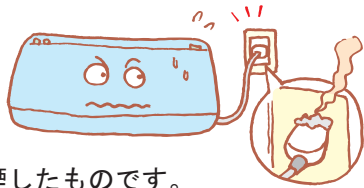
エアコンのプラグから発煙

事例

エアコンの電源プラグ付近から「パチパチ」と音がして発煙し、コンセント周辺が焦げた。(平成20年7月 兵庫県)

原因

電源プラグとコンセントのすき間にほこりがたまり、トラッキング現象が発生して発煙したものです。



電気製品の電源プラグをコンセントに差し込んだままにしていると、トラッキング現象が起こることがあります。コンセントやプラグにほこりがたまらないように、定期的に清掃しましょう。

トラッキング現象って？

コンセント等に電源プラグを長期間差し込んだままにしていると、すき間にほこりがたまり、そこに水滴や湿気が加わるとプラグの刃間に電流が流れて火花放電を繰り返します。そうするとその部分が炭化し、電気が通るようになるため、発火する現象です。

たこ足配線で発火

事例

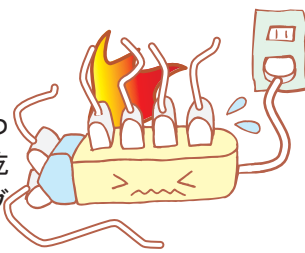
食器洗い乾燥機を3口延長コードにつなぎ予約運転をセットしていたら、乾燥機が大きな音とともに発煙し、プラグが焦げた。(平成22年7月 佐賀県)

原因

電気ポットと炊飯器なども使用し、延長コードの許容電流を超えるたこ足配線したため、過熱して発火したものです。



延長コードやテーブルタップに表示されている定格電力の合計を守ってください。
コードリールの延長コードは、巻いた状態とコードをすべて引き出した状態とでは流せる電流の大きさが違います。使用前に警告表示を確認しましょう。



素人修理で発火

事例

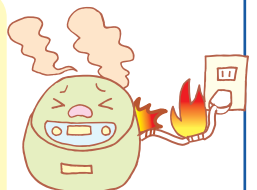
タイマーを入れておいた電気炊飯器から異臭と異音が生じて火が出て、本体とその周辺などを焼いた。(平成20年5月 茨城県)

原因

電源コードを自分で交換した際に、ねじってつけたために接触不良となって異常発熱し、ショートして発火したものです。



電子レンジやふとん乾燥機など多くの製品から同様の事故情報が寄せられています。素人修理は絶対にやめましょう。



 このマークは、取り扱いを誤った場合、重篤な被害を負うことが予想されますので注意をお願いするものです。